

校長 鈴木 宏卓

みなさまのご協力をおもなして、令和5年度の学校評価アンケートの集計と分析が終了いたしました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に移行し、学校生活も徐々に落ち着きを取り戻してきました。また、多くの人に協力していただき、農業体験学習や職場体験学習などの体験学習も実施することができました。多くの学校行事を安全に実施し、たくさんのお子おもたちの笑顔が見られたことは、保護者や地域のかたがたのご理解とご協力があったことと存じます。本当にありがとうございました。

アンケート結果からは、「家庭学習の取り組み（設問2）」や「登下校中の交通安全（設問17）」について心配している教員が多おもいますが、生徒・保護者との意識のギャップが感じられます。教員の生徒に対する期待の大きさが関係しているおもかもしれません。

「規則正しい生活の乱れ（設問16）」について気にかけている生徒・保護者・教員が多おもいます。長時間のスマホ利用により生活リズムが乱れ、家庭学習にも影響を与えていることが考えられます。

今回の学校評価アンケートの結果を真摯にうけとめ、今後も教職員一同、気を引き締めて生徒のために邁進してまいります。これからも五並中学校の教育活動にご理解とご支援いただきますよう、よろしくお願おもいたします。

1 本校の教育目標

地域と生徒の実態を把握し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を旨とする

校訓 「豊かな心の生徒」

めざす生徒像

- <知>深く考え、自ら学ぶ生徒
- <徳>思いやりをもち、助け合う生徒
- <体>気力をもってやり遂げる生徒

合言葉

- 「い」いつもにこにこ明るいあいさつ
- 「な」なんでも挑戦 チャレンジ精神
- 「み」みんなで力を合わせ きれいな学校

2 経営方針 ～すべては子どものために～

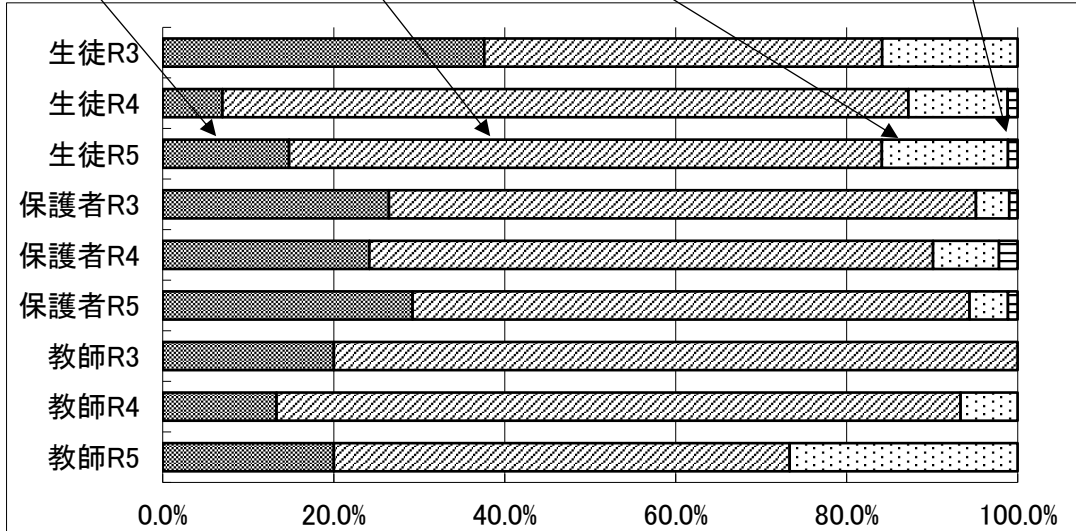
「五並中生であること(あったこと)の揺るぎない自信と誇りを、生涯にわたってもつことができる」生徒の育成

- (1) 「学ぶ楽しさ」を実感させ、自己表現力を基盤にした確かな学力を育成する
- (2) 一人一人が輝き、活気あふれる学校、温かさとおぬくもりのある居心地のよい集団づくりに努める
- (3) 地域・保護者が通わせたいと思える信頼される学校づくりに努める
- (4) チームとして組織力を強化し、教育公務員としての高い意識とタイムマネジメント力を高める

令和5年度 豊橋市立五並中学校 学校評価アンケート結果 1

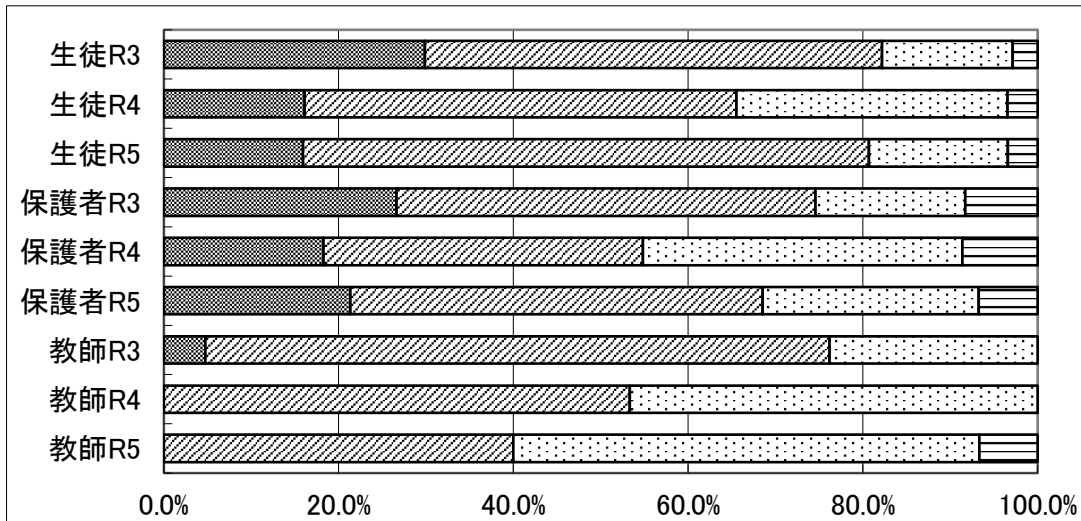
1 とてもそう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかと言えばそう思わない そう思わない

【設問1】



設問1は、子どもたちの学習態度（集中して話を聞く・返事をする・忘れ物をしない・発言のマナー）を質問しました。生徒・保護者の積極的回答が8割を越えており、学校や子どもたちが意識して取り組んだことを、成果として実感できていることがうかがえます。教師の消極的な回答③の増加は、子どもたちへのさらなる期待の現われだと捉えます。学習への取り組みがさらに充実していくよう、課題を明確にし、子どもたちへの支援・指導を継続していきます。

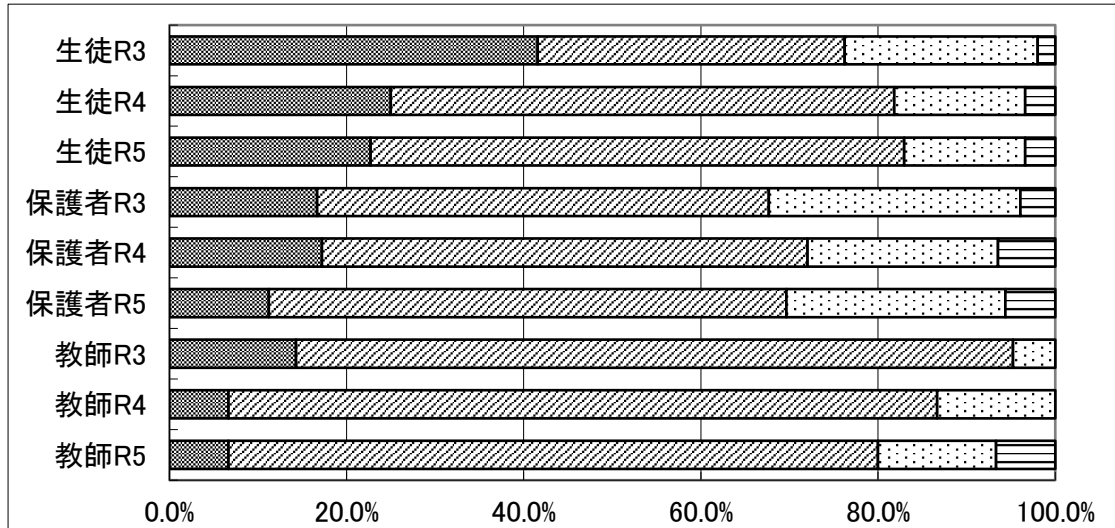
【設問2】



設問2は、子どもたちの家庭学習（一定の学習時間・課題への取り組み・自主勉強）を質問しました。積極的①②をしている生徒は昨年度と比べると増加傾向にあり、家庭での学習方法がわかり、意識して取り組む子どもが増えていることがわかります。その反面、保護者・教師の消極的③④の回答が目立ちます。子どもたちへの期待度の高さと実際の様子にギャップを感じているようにも捉えられます。三者（生徒・保護者・教師）が家庭学習に対する意図や取り組み方を共有したうえで、その成果を互いに実感できるように工夫・改善していくことが大切です。

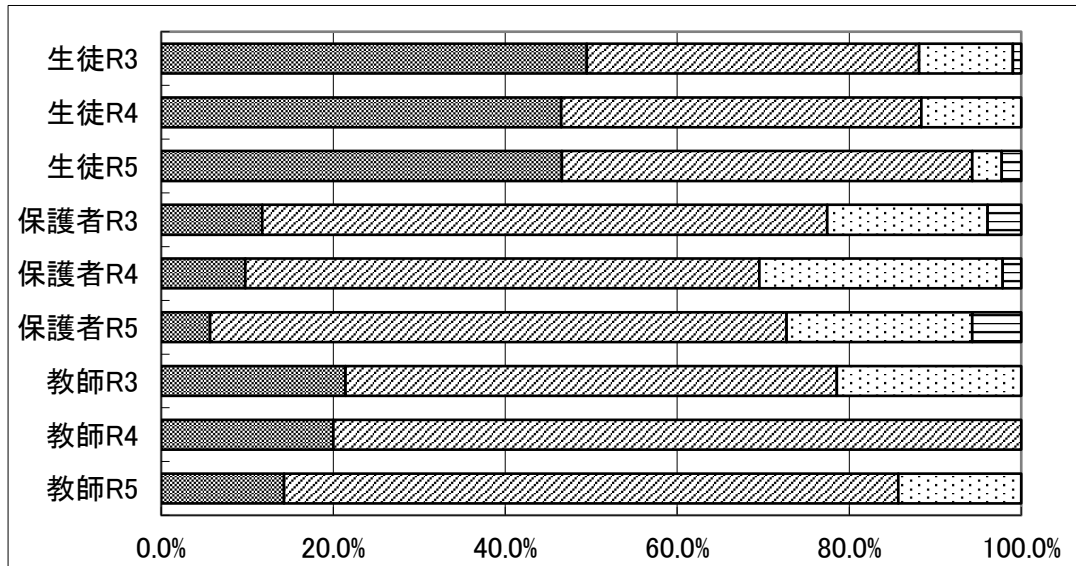
- 1 とてもそう思う。
- 2 どちらかと言えばそう思う。
- 3 どちらかと言えばそう思わない。
- 4 そう思わない。

【設問3】



設問3は、授業や各種コンクールでの基礎的学力の成果を質問しました。子どもたちは、昨年度に続き、8割以上が自分の取り組みを肯定的に捉え、各種コンクールや授業での小テスト等、前向きに取り組んでいることがうかがえます。しかし、設問2と同様、保護者と子どもとの受け取り方のギャップがここにもあります。子どもたちへの期待度の高さか、基礎的学力の伸びを十分に感じられない状況かを見極め、今後の取り組みに生かしていく必要があります。前向きに取

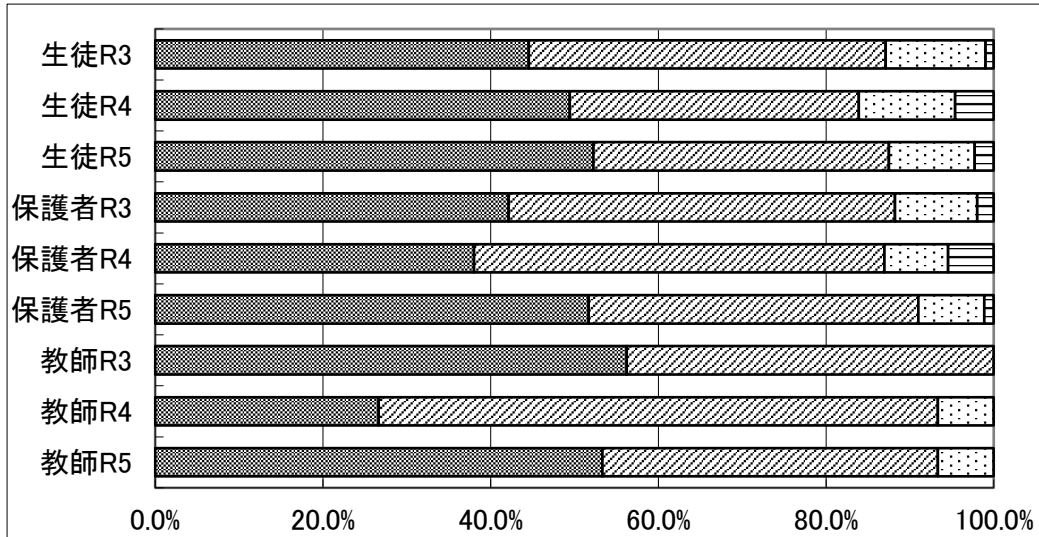
【設問4】



設問4は、確かな学力を身につけるための授業の工夫を質問しました。子どもたちは授業が工夫され、学習の基礎となる知識や技能の習得に役立っていることを実感しています。授業でのタブレット使用は今では特別なことではなくなり、各授業で活用されています。より効果的に活用できるようにするとともに、「生きた学力」(生きる力)を目ざし、学校では、話し合いや問題解決学習への取り組みを継続することでさらなる充実を図ります。

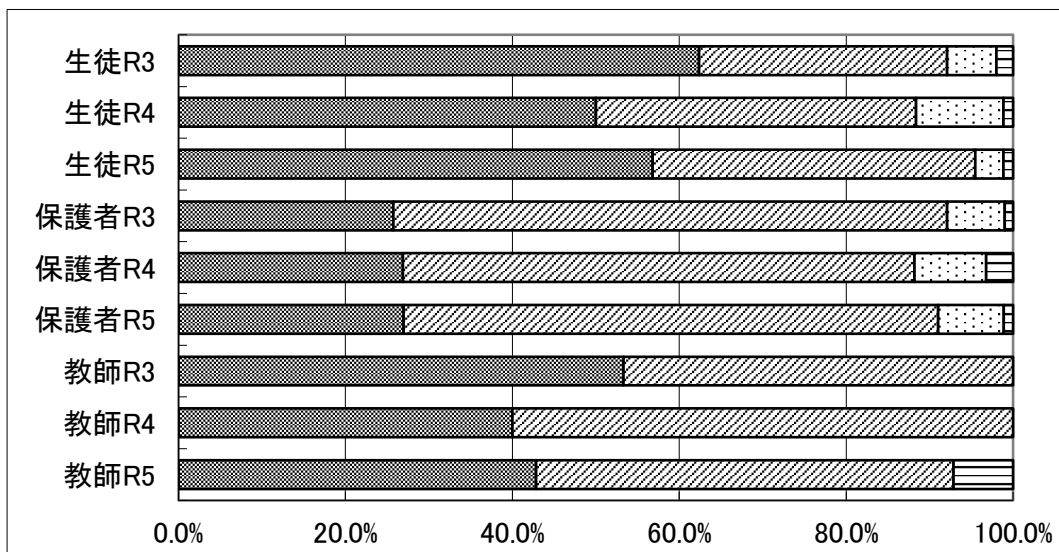
- 1 とてもそう思う。
- 2 どちらかと言えばそう思う。
- 3 どちらかと言えばそう思わない。
- 4 そう思わない。

【設問5】



設問5は、子どもたちの学校生活での、仲間の有無、自己の成長の実感、落ち着きのある授業の様子を質問しました。約9割の生徒・保護者・教師が、積極的①②を答えていることから、子どもたちは学校生活に概ね満足していることがうかがえます。仲間との関わりを大切にした取り組みを継続するとともに、消極的③④となる要因を見極め、個に寄り添った支援も大切にしていきたいと思います。

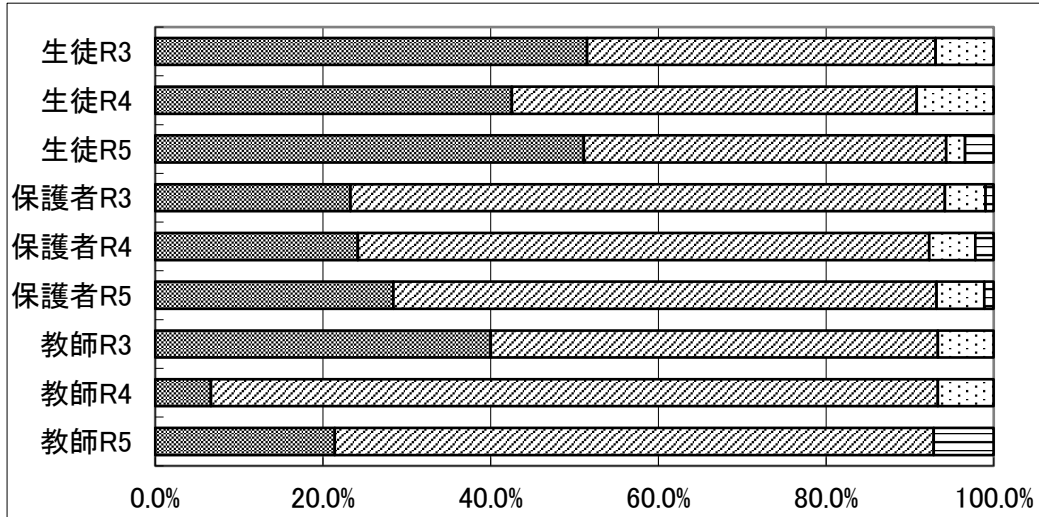
【設問6】



設問6では、子どもの悩みやいじめ等の問題への教職員の対応を質問しました。9割以上の生徒・保護者・教師が、積極的①②と回答しており、高く評価されていると捉えることができます。どの子にとっても安心・安全な学校を目ざし、一人一人に寄り添った支援・指導を進めるとともに、問題を解決するための適切な対処の仕方や子どもたちの自浄力育成にも力を注いでいきます。

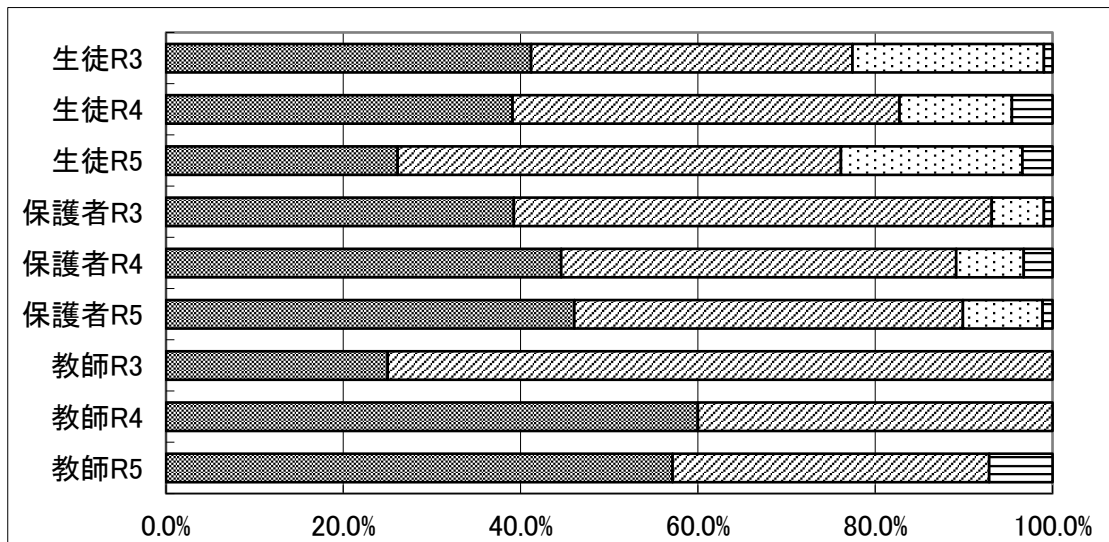
- 1 とてもそう思う。
- 2 どちらかと言えばそう思う。
- 3 どちらかと言えばそう思わない。
- 4 そう思わない。

【設問7】



設問7では、『いのち』の尊さを教えているか、大切さを学んでいるかを質問しました。いのちや人権などをテーマにした道徳の授業、豊橋・学校いのちの日での講演会、全校集会や学級活動、終業式での命や安全を考える講話など、子どもたちは常に真剣に受けとめています。自分ごととして捉えたその思いを実生活で行動に移していくことができるよう、支援していきます。

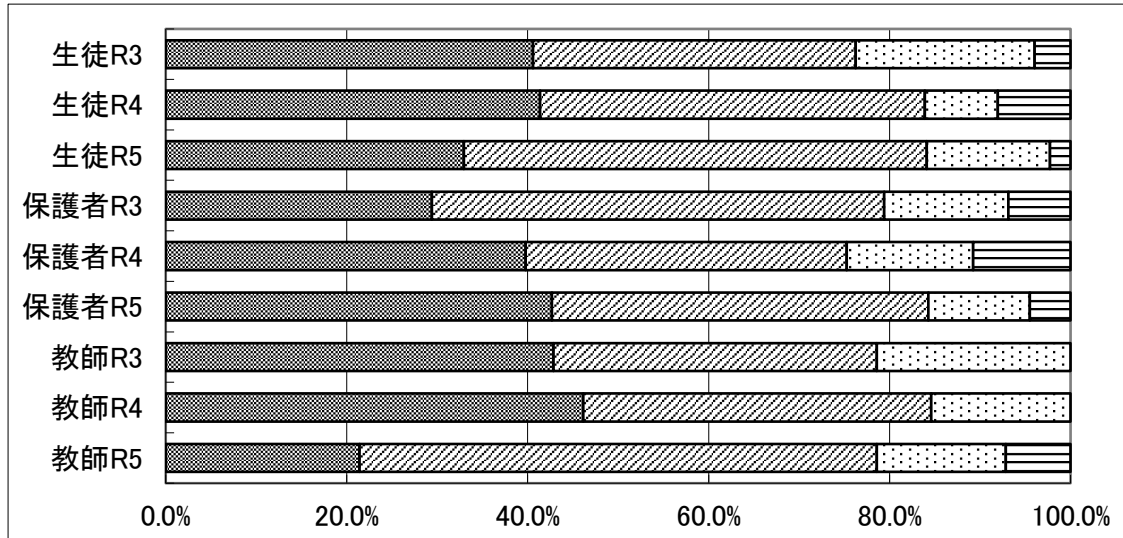
【設問8】



設問8では、合言葉「い・な・み」の『何でも挑戦、チャレンジ精神』の名のもとに、全ての教育活動における積極的な姿を質問しました。子どもたちの積極的に取り組む姿を保護者・教師ともに実感していることが約9割の積極的の回答からうかがえます。しかし、子どもたちの積極的の回答が保護者・教師に比べやや少ない結果となっています。もっとこうすればよかったという意識の現われとも捉えられますが、その要因をつかみ、今後も一人一人が輝く場を設定することで、より多くの子どもたちが自信をもって挑戦していけるようにしていきます。

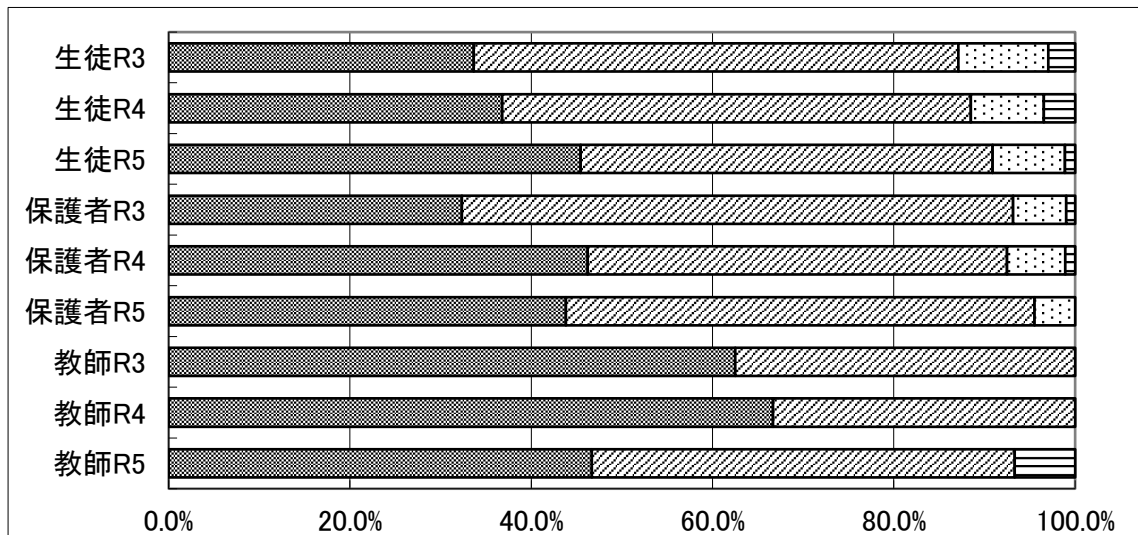
- 1 とてもそう思う。
- 2 どちらかと言えばそう思う。
- 3 どちらかと言えばそう思わない。
- 4 そう思わない。

【設問9】



設問9では、体育科での授業や部活動、家庭での自主的なトレーニングをとおして、健康で健全な身体づくりに励んでいるかを質問しました。どんなことでも、何かを取り組む際に必要なのは体力です。生徒・保護者・教師ともに約8割が積極的的回答(①②)を示し、学校だけではなく家庭でもすすんで身体づくりに取り組んでいる様子がうかがえます。

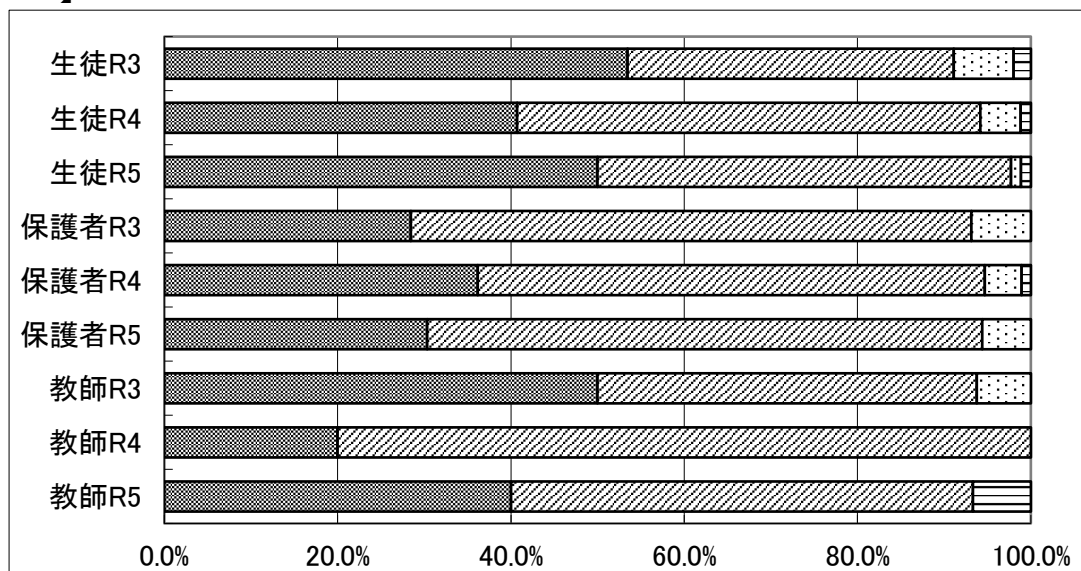
【設問10】



設問10では、各種通信により、子どもたちの様子や学校行事等の情報を適切に伝えているか質問しました。生徒・保護者ともに消極的的回答が減少しており、子どもたちの様子や学校行事等の情報が通信やホームページ等で伝わっていることがわかります。学校では、ペーパーレス化に向けてデータでの配信を積極的に取り入れていきます。

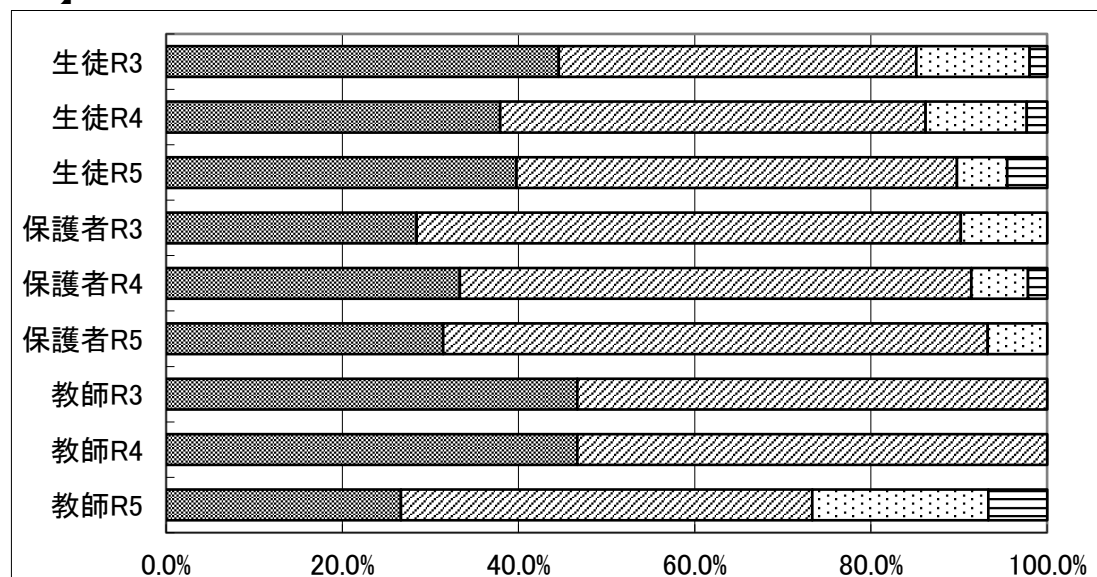
- 1 とてもそう思う。
- 2 どちらかと言えばそう思う。
- 3 どちらかと言えばそう思わない。
- 4 そう思わない。

【設問 1 1】



設問 11 では、学校・保護者・地域との連携や協力について質問しました。子どもたちの育成は、『子どもたちは地域・家庭・学校の宝』という共通理解のもと、三位一体となった支援が求められると考えます。子どもたちは、地域や保護者の方々が見守ってくれていることを実感しています。これからも、子どもたちの成長を支え、見守っていけるように、三者相互の理解を深めるとともに、連携をとっていききたいと思えます。

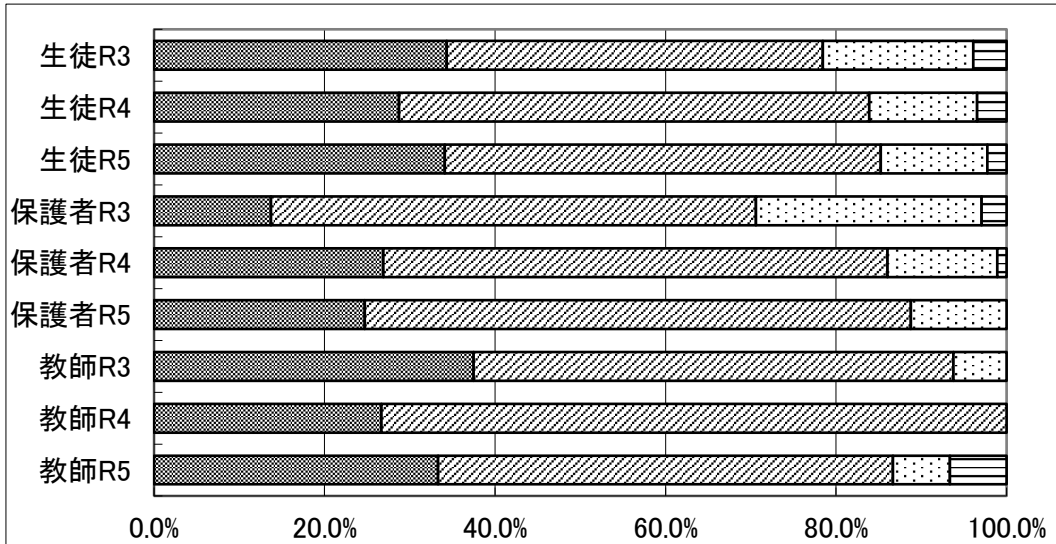
【設問 1 2】



設問 12 では、地域の教育環境や教育力について質問しました。今年度は、コロナ感染症が第5類に移行し、農業体験、職場体験など、地域の方々の協力を得て実施することができました。さらに、体育祭や文化祭、表浜フェスティバルなど保護者や地域の方など多くの方に参加していただくことができ、地域を生かした学習活動となりました。

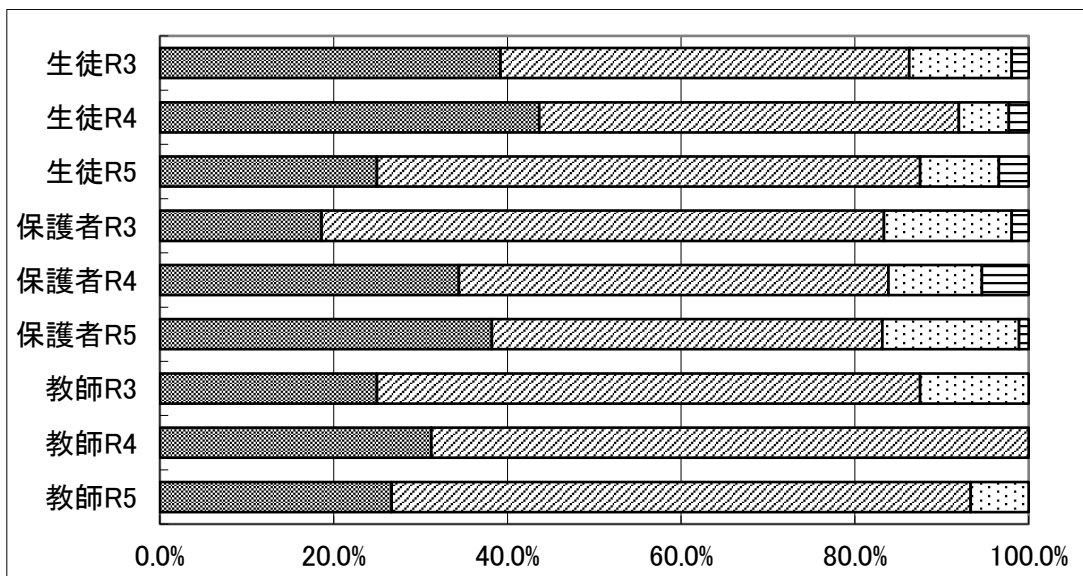
- 1 とてもそう思う。
 2 どちらかと言えばそう思う。
 3 どちらかと言えばそう思わない。
 4 そう思わない。

【設問 1 3】



設問 13 では、細谷小、小沢小、五並中の 3 校の連携を質問しました。小学 6 年生児童の体育祭への参加は天候不順のため実施できませんでした。音楽交流会は、今年度は小沢小にて行いました。中学生が主体となって会を運営しました。「中学生はすごい」「あんな中学生になりたいな」などの小学生の感想からも、交流が、小学校から中学校へのスムーズな引継ぎの場や機会となっていることがわかります。今後も 3 校の教育活動が円滑に行われるように努めていきます。

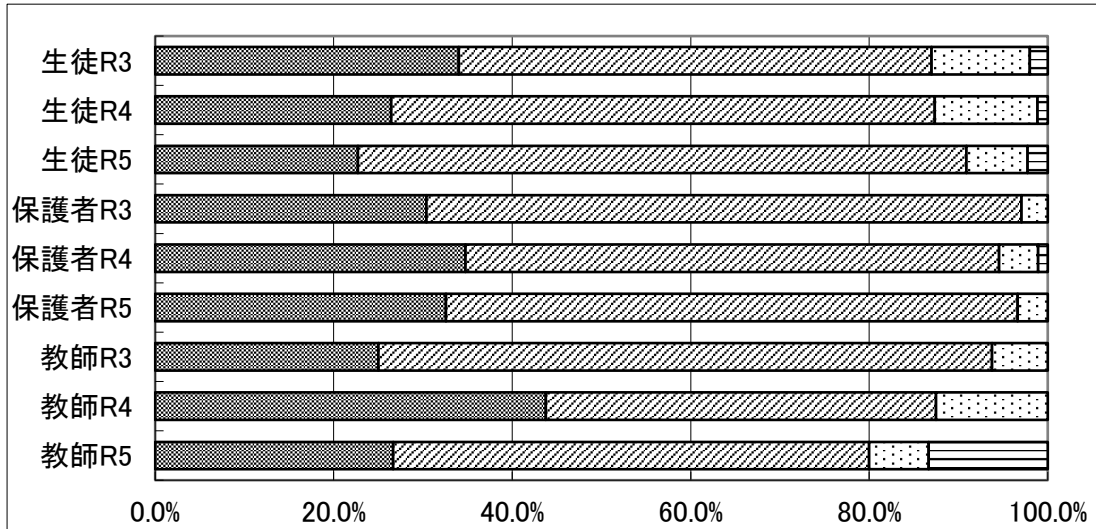
【設問 1 4】



設問 14 は、合言葉「い・な・み」の「いつもにこにこ・明るい挨拶」の徹底を質問しました。本校では、日常を磨くことを目的とする『173 カップ』を実践して、挨拶をその一つに特化して推進しています。子どもたちの意識は高く、授業の最初と最後の挨拶だけにとどまらず、よりよいコミュニケーションをとる手段となるよう、質の高い挨拶を目指しています。

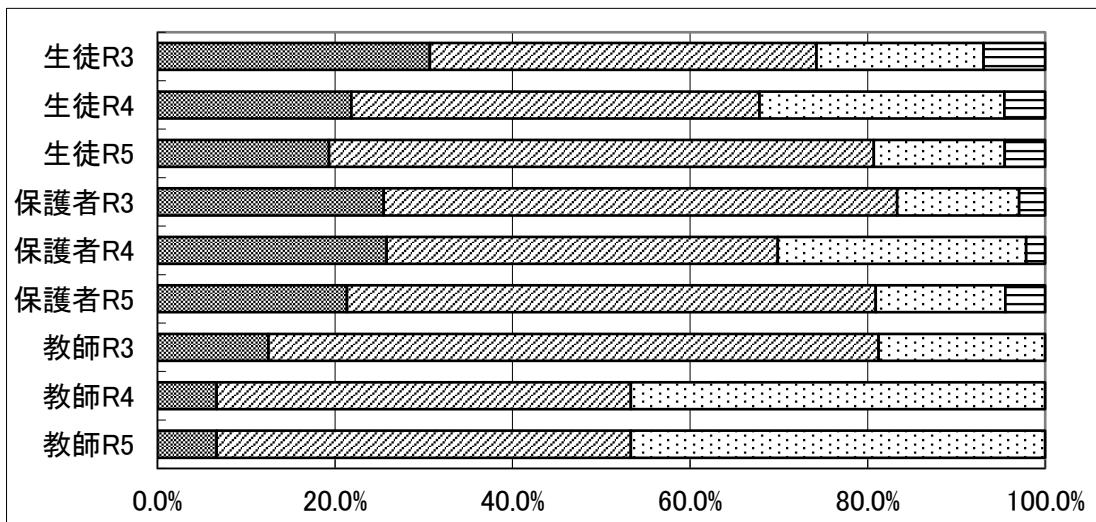
- 1 とてもそう思う。
- 2 どちらかと言えばそう思う。
- 3 どちらかと言えばそう思わない。
- 4 そう思わない。

【設問15】



設問15では、合言葉「い・な・み」「みんなで力を合わせ、きれいな学校」の徹底さを質問しました。生徒・保護者・教師の多くが意識して学校の美化に努めていると捉えています。学校では無言清掃に取り組み、学校環境の美化とともに自分の心も磨いていけるような清掃活動を大切にしていきます

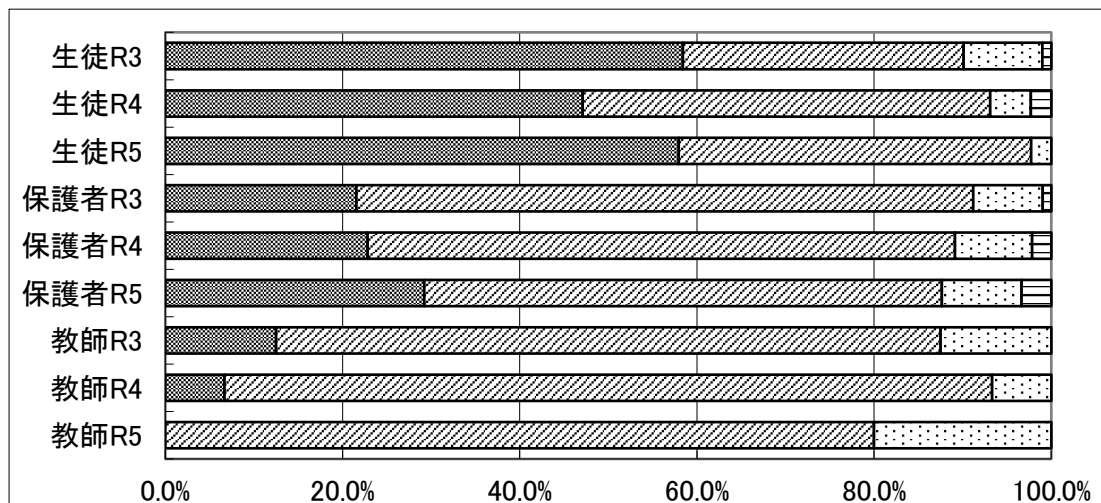
【設問16】



設問16で、規則正しい生活と健康で活気のある生活を質問しました。8割の生徒・保護者は積極的(①②)をしています。昨年度より増加傾向にあり、意識が高くなったことがうかがえます。反して教師の積極的(①②)の回答は約5割です。睡眠時間が不足した状態で学校に来た生徒からは活気が感じられず、学校生活を送るうえで心配になることが多いです。また、体調を崩して早退することもあります。生徒・保護者ともに消極的(③④)の回答があることも心配です。その要因を明らかにし、ご家庭とも連携しながら誰もが健康で活気のある生活を送ることができるよう、努めていきたいです。

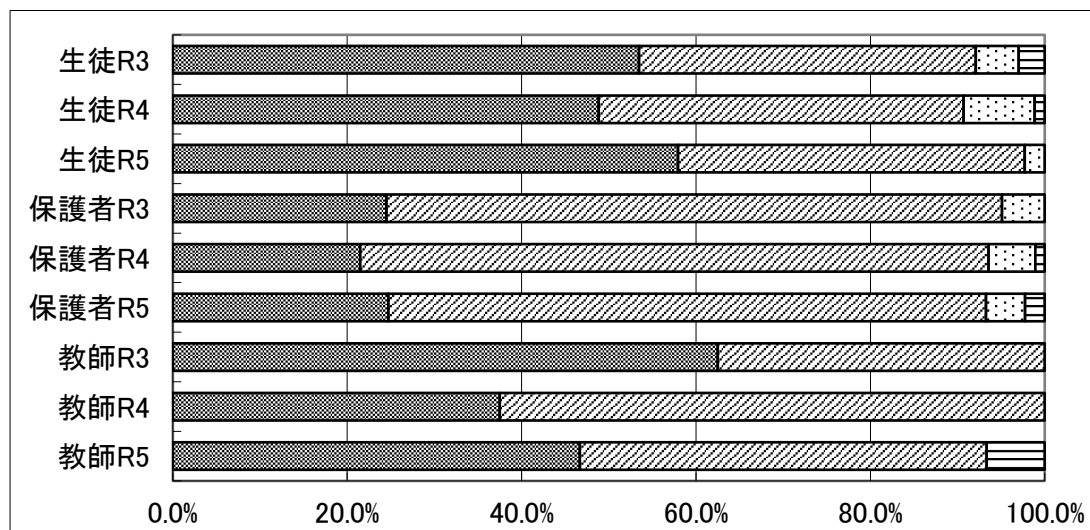
- 1 とてもそう思う。 2 どちらかと言えばそう思う。
 3 どちらかと言えばそう思わない。 4 そう思わない。

【設問17】



設問17では、登下校中の交通安全、危険個所の啓発や事故防止への取り組みを質問しました。生徒の半数以上は積極的①と答えており、意識が高まっている様子がうかがえます。しかし保護者、教師はそこまでいたらず、両者の認識のずれとともに、子どもたちにはもっと気をつけてほしいという願いが現われています。今後も事故防止に務めるとともに、当下校中の安全について、自転車の並列走行の危険性や「自分の命は自分で守る」ことの大切さを伝え、行動に移していくことができるように取り組んでいきます。

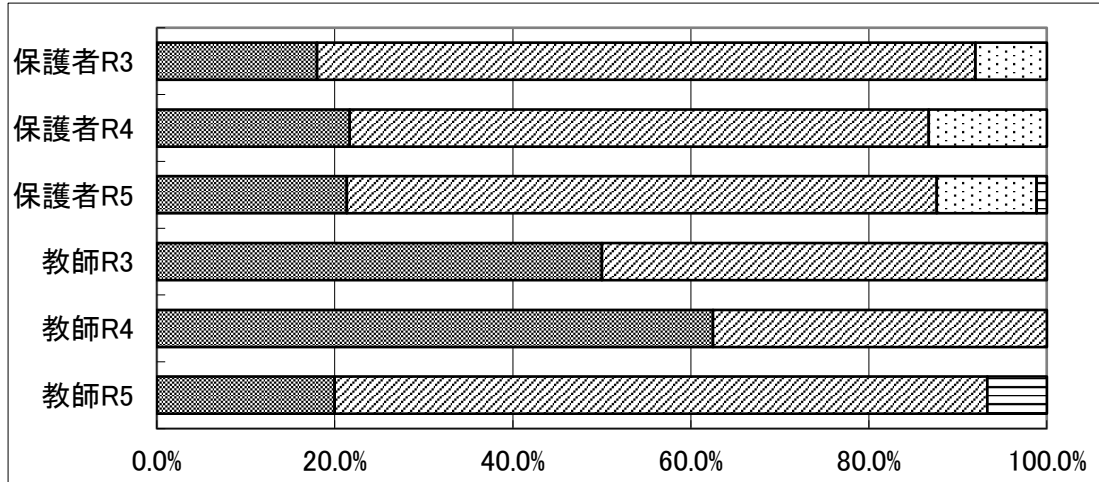
【設問18】



設問18では、災害に対する安全教育と学校施設の安全管理を質問しました。子どもたちは、避難訓練など、学校で実施する防災教育に真剣に取り組んでいることがわかります。自然災害はいつどこで起きるか予測不可能なことが多いです。未然に防ぐための安全管理とともに、いざというときに対応できる危機管理能力を身につけていけるよう、今後も取り組んでいきます。

- 1 とてもそう思う。
 2 どちらかと言えばそう思う。
- 3 どちらかと言えばそう思わない。
 4 そう思わない。

【設問19】



設問19は、保護者と教職員のみを対象に、学校評価による教育活動の改善を質問しました。約9割の保護者・教師がアンケート結果をもとに教育活動の改善に取り組んでいると評価していることがわかります。しかし、消極的な評価となる部分もあることはおろそかにはできません。積極的・消極的の回答となるそれぞれの要因を明らかにするとともに、今年度の教育活動を振り返り、学校評価をもとに次年度に向けての改善を検討していきます。

【いただいたご意見より】

<全般>

- とても素敵な先生方ばかりで、生徒一人一任をよくみてくださっているので、安心しています。ありがとうございます。
- 今年は資源回収と小学校の運動会が重複したので、行事の連絡をとってほしいです。

◆学校経営方針の一つに「一人一人が輝き、活気あふれる学校、温かさやぬくもりのある居心地のよい集団づくりに努める」があります。子どもたち一人一人に寄り添った教育活動となるように教職員一人一人が日々精進しています。今後も子どもたちや保護者のかたの安心につながる教育活動を展開していきます。また、細谷・小沢小と五並中との連携を強化し、学校行事等が重ならないようにすることはもちろん、小・中の義務教育の中で、子どもたちがよりスムーズに、より安心して成長していけるような教育環境を整えていきたいと思っております。

<学習>

- 数学の授業が、個人の能力で分かれています、今の能力では合っていない気がします。基礎が不十分な気がして、ついていけないのか謎です。
- クラス全体の学力が低下しているので補習授業をしてほしい。
- 小規模の学校なので、先生が少ないかもしれないが、勉強が苦手な子が授業についていけないということがないように、しっかりサポートして欲しい。

- ◆子どもたちの学習がより充実したものになるようにするとともに、学習面での不安を少しでも軽減できるよう、授業中の質問はもちろん授業以外の時間でも質問できるように声をかけ、できる限り早めの対応ができるように取り組んでいます。テスト週間中には自習時間を設け、自習するだけではなく、質問をしたり、わからないところを教えてもらったりする時間にもなっています。こうした機会を、子どもたちが自ら有効活用していくことができるようにするとともに、基礎的学力定着に向けての家庭学習の大切さや、その方法について、今後も子どもたちへの支援・指導を継続していきます。
- ◆子どもたちの学習がより充実したものになるように、今年度は、2年生の数学の授業において、希望調査を基に2クラスに分かれての少人数指導で学習を進めています。お子さまの学習状況によってクラスを変更することは可能です。担任、教科担任にご相談ください。
- ◆子どもたちに学び方を教え、子どもたちが学ぶ楽しさを実感し、将来にわたって学び続ける素地や、具体的に社会で生きる際に求められていく基礎基本や、思考力・判断力・表現力の育成に今後も全職員で精進していきます。

<安全>

自転車通学のマナーが悪すぎる。たまに先生が立っているが、ただ立っているだけ意味が無い。2列は当たり前、道に広がり車が来てもよけない。

- ◆問17での回答にもありますように、「登下校の安全」「自分の命は自分で守ること」への子どもたちの意識は高まっています。しかし、ご意見にもあるように、危険を感じるような登下校の状況になってしまう場面は、まだまだ無くならないのが現状です。学校では、立ち番や校区内巡視等の情報をもとに、具体的な場所や危険な行為を例に挙げ、「命を守るためにはどうしたらよいか」と子どもたちに投げかけ、考えさせると同時に、その考えや思いを具現化できるように、継続して支援・指導をしています。形だけのものではなく、子どもたちが自ら行動に移す真の力になることを目指します。地域で危険な行為を目にした際には、子どもに声をかけていただくとともに、学校にも一報入れていただけますとありがたいです。また、ご家庭でも、自転車に乗るときのマナーや自分の命を守ることに話題にいただき、学校・家庭・地域の三者で子どもたちの尊い命を守っていきたいと思います。

<その他>

- ◆学校生活や部活動に関わることを心配するご意見もいただきました。お忙しい中だとは思いますが、ぜひ学校へ足をお運びいただき、心配な部分をお話しいただけるとありがたいです。心配ごとの解決に向けて一緒に考えていけたらと思います。
部活動は楽しいことだけではなく、苦しいことなどを学べる場でもあります。部活動の練習（練習試合）をしているときには常時見学可能ですので、活動の様子をぜひ参観していただけたらと思います。また、本校では、常に学校での子どもたちの様子を見ていただけるように授業公開もしています。お越しの際は職員室に一言声をかけていただき、ご参観ください。